

教育実践高度化専攻

●専攻の教育理念と教育目的

本専攻には、リーダーシップ開発コース、教育実践開発コースの2コースがあります。

リーダーシップ開発コースでは教育現場での経験を糧として、「リーダーシップ」を有する学校管理職の育成を、教育実践開発コースでは学士課程等で培った資質能力を基礎として、高度な実践的指導力を有するミドルリーダーの育成を目的としています。そのため、学生は、学校教育をめぐる現代的諸課題に関する講義と多様な実習科目とを通して、学校教育に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ、学校経営や教育実践に関して高度な専門的知識を習得するとともに、学校経営や教育実践をめぐる現代的諸課題への対応方策を適切に考え、高い技能と豊かな表現力をもって教育活動に取り組む力を培います。

●専攻のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、修了時必ず身につける能力)

<知識・理解>

1. 学校経営や教育実践に関して高度な専門的知識を習得している。

<技能>

2. 教育にかかわる高い技能を身につけている。

<思考・判断・表現>

3. 学校経営や教育実践をめぐる現代的諸課題について、幅広く専門的な知見をもとに、その対応方策を適切に考え、高度な実践力をもって学校経営・教育活動に取り組むことができる。

<関心・意欲・態度>

4. 学校に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ先導的に学習し研究する高度な教育実践力をもった専門的職業人として、自己の使命と責任とを自覚し、自主的に社会に貢献しようとする。

●専攻のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針、入学時に問われる能力)

教育実践高度化専攻には、リーダーシップ開発コース、教育実践開発コースの2コースがあります。

リーダーシップ開発コースは、学校・地域を取り巻く複雑な諸問題の解決を図り、児童生徒の確かな成長を、効果的な職員間の協働体制(組織力)と、学校・家庭・地域の連携体制及び相互信頼醸成(信頼構築)を通して保障する「リーダーシップ」を有する学校管理職の育成を目的としています。学校管理職を目指す主任職経験等を有する現職教員を対象とし、学校経営の立場から教育に貢献する意思を持つ人を求めています。

教育実践開発コースは、学級・学年・学校を取り巻く複雑かつ多様な諸問題の解決を図り、児童生徒の確かな成長のための高度な「実践的指導力」を育成します。現職教員においては、ミドルリーダーとして様々な問題を組織的に解決し、また、個々の授業力を学校全体で組織として高める「組織力」を醸成できる教員の育成を目的としています。教員免許状を有している学部新卒者、臨時的任用教員、10年から20年程度の教職経験を有する現職教員を対象とし、将来学校現場の中核として活躍する意欲を有する人を求めています。

●専攻のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラムの概要

専攻共通基礎科目として「教育課程の編成及び実践に関する領域」、「教科等の実践的な指導方法に関する領域」、「生徒指導及び教育相談に関する領域」、「学級経営及び学校経営に関する領域」、「学校教育と教員の在り方に関する領域」のそれぞれの科目を履修し、さらにそれぞれのコースにおける選択科目を履修します。また、実習科目として「異校種実習」、「小規模校実習」、「研究指定校実習」、「地域連携実習」を行います。これらで培った学修の成果を「実践研究報告書(課題研究)」の作成とプレゼンテーションに結実させます。